

認証評価結果に対する改善報告書

平成 30 年 7 月 23 日

1. 大学名：浜松学院大学

2. 認証評価実施年度：平成 29 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2－1

現代コミュニケーション学部地域共創学科の収容定員充足率が 0.7 未満であるため、入学者数増の施策について改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2－1 について

教育内容の充実については、本学の教育理念である専門的実務能力と共生協調能力を兼ね備えた人材の育成を達成するため、地元自治体や企業等と連携した 3 ヶ月のインターンシップ制度「長期企業内留学」を導入しており、今年度、地域共創学科 3 年生全員が参加している。また、本学独自の学修プログラムである「DiCoRes (対話・協同・責任) プログラム」を軸に、アクティブラーニングを主体とした大学教育改革プログラム (AP) を引き続き全学的に取り組んでいる。

入試広報の強化については、年間 1 校当たり 4 回高校訪問し、学生確保のため本学の特色を丁寧に説明している。昨年度は、訪問エリアを県外にも広げ 104 校 (1 昨年度比 11 校増) 訪問した。今年度は訪問校を 123 校に増やし、6 月 15 日現在 1 回目 82 校訪問した。また、オープンキャンパスの開催回数を 3 回から 5 回に増やすとともに、7 月には新たに高校生が受講する「授業開放デー」を実施する。

また、学生確保のため今年度入学生から遠距離通学費やアパート賃借料の一部を支援する制度を導入し、学生募集に当たり広く周知した。

高大接続に向けた連携の強化については、系列の浜松学院高校から科目等履修生を受け入れており (昨年度 11 人)、履修生の増加などにより、今後は 30 人以上の入学者を確保する。また、今年 2 月、近隣の県立浜松商業高校と連携協定を締結しており、出前授業等の取組を進めている。

クラブ活動については、今年度、地元プロバスケットボールクラブの協力のもと、バスケットボール部を創設した。その結果、他県からの入学生が増加するとともに、大学全体として活力ある学生生活の醸成にも繋がっている。

地域共創学科の今年度の入学者が、昨年度から 14 人増の 43 人 (入学定員充足率 71.7%) となったのは、このような取り組みへの理解が広がり、成果に表れてきたものと考えている。

今後も、全学が一丸となって、上記の施策に継続して取り組み、早期の定員確保につなげていく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

現代コミュニケーション学部地域共創学科 入学定員・収容定員充足率の推移

年 度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
入学定員	80	60	60	60
入学者	21	26	29	43
充足率	26.3%	43.3%	48.3%	71.7%
収容定員	320	300	280	260
現員	133	119	114	118
充足率	41.6%	39.7%	40.7%	45.4%